

高卒レベルの理解で申し訳ないけど

さすがに論文にするのに疲れたから前の論文みたいなものを書くことにした経緯をここにまとめる。

これを考えた経緯は自分が学生時代、速さとか比較とか、文脈の変化で0の解釈が違って、あれ？0って数なの？概念なの？ってなってから考えた。

特に深い理由はない。

ちょうど1か月前に進化って何かなあとか考えてた時期があって。

とある日本の大学教授にボールドウィン効果があるってこと教えてもらったんだけど。

ボールドウィン効果ってざっくり

「遺伝子や分子進化などを考慮せずに環境だけを見た上での※ここ重要」試行錯誤→適応→応用なわけじゃん。

例として初期の人類でとりあえず対象が3人いたとするよ。

んで、目の前に木の棒、まあ1mくらいの長さの木の棒があるわけだ。

初めの思考段階

1は木の棒を見て「これは狩りに使える……？」って思考をする

2は木の棒を見て「これで地面叩くと音が出る」って思考をする

3は木の棒を見て「仲間の数集めれば仲間の把握ができる」って思考する

で次、錯誤段階

1は、木の棒を折ってみたりして獲物を捕えるためにより鋭くしたりっていう「思考と錯誤」を繰り返す

2は、木の棒を折ったりして短いと音が……長いと音がこうなるのか……って音の出方を「思考と錯誤」で繰り返す

3は、木の棒を折ったり他から集めてきて集団での実用性と個人の把握レベルでの実用性、どちらが便利かを「思考と錯誤」を繰り返す

で次、適応なんだけど

1は「木の棒をこうすると狩りがやりやすい！」と答えを出す

2は「木の棒でたくさん種類作った、この音は喜び、これは戦闘にしよう！」と答えを出す

3は「木の棒をこうやって並べるとみんなが把握出来る！」と答えを出す

その答えが仲間に広がるわけで、次応用なんだけど

1は「もしこれを石にしたら？」と考える

2は「もし地面以外、水溜まりとかで音を出せれば？」と考える

3は「地面に木の枝で線を書けば数が把握できるな？……でも誰も居ない時はどうする？」と考える

ほら。ここまで見たらわかると思うんだけど

1は武力、2は意思疎通？、3は数字に当てはめることができるよね。

で、今の時代1と2はほぼ統一（輸入や輸出、翻訳や音楽）で整合性を取れたりって出来るのに、

3の数字を利用した学問は「自然数になったり概念になったり」で整合性が取れずに応用で躓いてるのね。

じゃあどうすればいいの？ってなと思うんだけど、

【概念として再定義】することによって不確定や未定義問題がある程度纏まると思うの。

Redrit内質問より

Q.0を概念として再定義することでどんなメリットがある？

A.例え話なんだけど

比較の0をC0(comparison0)とし

【物理学】

外力が働いていない場合(合力=0)

他と比べて相対的に0 他と比較してゼロ(力が働いていない)→ 比較の0(C0)

【論理学】 比較の0(C0)は論理学にも使える。

C0を入れることにより

・命題論理は0と1以外の未確定な状態を比較出来る

(真偽値表の確定を緩く出来る→0.8ならほぼ真、0.2なら完全な偽では無い)

・シュレディンガーの猫など、観測前をC0とすることでパラドックス解消

C0を入れると、論理の比較や矛盾の処理がしやすくなる

→「C0(比較の0)」として概念を統合し説明すると、合力の概念や、論理学の比較が直感的に理解しやすくなる。

基準の0をB0(basis0)とすると

【物理学】

力が完全に釣り合っている場合(合力=0) この時点で0を基準とする 基準としてのゼロ(静止している、釣り合いが取れている)→B0

(多分速度0とかもB0として概念にあてはめることが出来そう)

【論理学】

命題論理の0と1の確定な状態をB0とする事で柔軟な論理設計が可能

【統計学】

犯罪率0%→犯罪が全く発生していない時の基準→B0

失業率0%→失業者が全く存在しない時の基準→B0

etc.....

—

何を目的としてこれを提唱したかと言うと

- 1.数学や既存学問をより柔軟に分かり易く整理できるメリットがある
- 2.既存の状態を表す概念としてより明確に整理できる
- 3.今後、人類が発展して新しい0が生まれてもすぐに概念として取り込める(英語+0)
- 4.教育の場で0がどういう役割を持つか感覚を持たせることが可能

あくまで概念として再定義するだけ。

既存の数式や未定義の問題を概念とすることで混乱が減らせる。

→過去に確立された学問の基礎などを壊さずに整理が出来る！

函館高専/運動の法則 https://www.hakodate-ct.ac.jp/~nagasawa/Mechanics_2.pdf

東北大学 数学研究科/命題論理

https://www.math.is.tohoku.ac.jp/~obata/student/subject/file/2018-1_meidaironri.pdf

沖縄科学技術大学院大学/シュレディンガーの猫 <https://www.oist.jp/ja/image/schrodingers-cat>

言語+0として表記することで明確に概念として学問の整合性が取れるんじゃないかな、って。

世界共通語は「英語」だから、英語+0とすることでわかりやすくなるし、教育現場にも適応できる。

提案↓

・比較(comparison)+0で【C0】

・基準(basis)+0で【B0】

・記号(mark)+0で【M0】(これ使う?)

とかね、こうすると頭文字+0は概念なんだ！って分かりやすくなる。